

《競技方法・団体の部》 1次予選用

*男女とも複2組、単3人によるチーム対抗戦とし、各対戦は1セットマッチを原則とする。

6ゲームオールになった場合は7ポイントのタイブレークゲームで勝者を決める。試合方法は、全国高校選抜予選に準じた形式とし、同一選手が単・複を兼ねて出場することはできない。また、試合順序はS1→D1→S2→D2→S3の順序で行うものとする。

*1次予選の本戦では、A～D各ブロックの決勝までしか対戦を行わないので、原則としてすべての対戦を行う。

2次予選では、原則として、対戦結果が出た時点で打ち切りとする。

*各対戦のオーダーは、単試合は登録順位に従い、複試合は登録番号の和算の少ない組を第1ダブルスとし、和算同数の場合は最上位登録者を含む組を第1ダブルスとする。

*ルールは京都府高等学校体育連盟テニス専門部が主催する大会の試合実施方法に従い、エントリー時や試合の前後には顧問（監督）の引率が必要である。また、本大会独自のローカルルールを設定することがある。

*対戦は、最大5面同時進行で行うこともある。

*コンソレーションマッチは4ゲーム先取（ノーアドバンテージ方式）で行い、チームの勝敗が決定後の試合は打ち切りとする。また、時間の制約があり、本戦ドローを優先して行うため、対戦の途中で打ち切る場合がある。

*本年の大会においては、登録メンバー9名以外の選手の出場を認めない。

*2次予選進出校は近畿大会府予選・全国高校総体府予選の結果をふまえ、10月27日(木)までに、再登録を行う。準決勝、決勝、順位戦の結果、上位2校に近畿高等学校テニス大会団体の部への出場権を与える。

《競技方法・個人の部》

*シングルスのみ行い、1セットマッチを原則とする。6ゲームオールになった場合は7ポイントのタイブレークゲームで勝者を決める。

*1次予選はA～D各ブロックの決勝までを行う。2次予選は準決勝・決勝・3位決定戦を行い、優勝者・準優勝者・3位決定戦勝者に近畿公立高等学校テニス大会個人の部への出場権を与える。

*コンソレーションマッチは4ゲーム先取（ノーアドバンテージ方式）で行うが、時間の制約があり、本戦ドローを優先して行うため、対戦の途中で打ち切る場合がある。

*大会初日・2日目の進行が大幅に遅れた場合は個人の部を中止する。

《注意事項》

【1】出席について

団体戦においては、本部に監督及び代表選手1名が出席を届けることとする。その際、登録されているメンバー表に変更がある場合は、その旨を本部に申し出て訂正すること。

個人戦においては、本部に選手が所定の服装で出席を届け、その際参加料2,000円を支払うこと。

【2】 試合について(団体の部)

- ① 試合進行はオーダーオブプレーで行う。オーダー用紙は同じものを2枚作成し、試合毎に本部に提出して確認印をもらうこと。用紙への記入はボールペンを用い、顧問印またはサインが必要である。
- ② 試合球はエントリー時に各校に3缶配布する。勝者校は対戦終了後、両校のセットボールとニューボールの6缶を確保して、セットボールを本部に返却し、ニューボールは保管して次のラウンドの対戦で使用すること。
- ③ ロストボールやルール上の問題が起きた場合は、監督を通じてトランシーバーで本部に連絡すること。
- ④ 試合結果報告は、各シングルス・ダブルスの試合終了後すぐに、監督を通じてトランシーバーで本部に連絡すること。勝者は直接本部に速やかに結果を報告しに来ること。結果報告が遅れると当該の選手の登録を抹消する場合がある。

【3】 会場使用上の注意

- ① 「密」を避けるために、更衣室やクラブハウスは順番に交代で使用し、室内を占拠し続けることのないようにすること。選手は屋外の待機が基本となる。その他、良識ある使用に努めること。
- ② ゴミは基本的に持ち帰ること。
- ③ 貴重品等は各自・各校で管理すること。
- ④ コート外でのボールを使用した練習は一切禁止する。

【4】 感染対策上の注意として、例年と異なる点

- ① 登録選手以外の者の観戦、応援を禁止する。
- ② 全員揃っての出席確認は行わず、監督・代表者が出席を届けること。ウェアの確認が行えないので、各校でドレスコード違反のないように、責任を持つこと。
- ③ 開会式、諸注意は行わないので、ドローの注意事項を各自がよく読み、間違いのないようにすること。
- ④ 放送アナウンスによる連絡・注意が多くなるので、注意すること。
- ⑤ 試合中以外は常にマスクを着用すること。
- ⑥ プレマッチミーティングは行うが、距離を置いて簡潔に行うこととし、円陣やかけ声等は禁止する。
- ⑦ スコアボードの入れ替えは、ドロー番号の少ない方の選手がすべて行うこと。
- ⑧ 試合中のハイタッチ、かけ声、対面での打ち合わせを避けること。試合後の挨拶は握手せずに行うこと。
- ⑨ ボールの手渡しを避けること。
- ⑩ トランシーバーによる勝者報告は監督に任せること。
- ⑪ 結果報告の際は、オーダーカードの取り外しを本部役員に任せて行うこと。
- ⑫ 試合中以外は常にマスクを着用し、選手が集まって応援することを禁止する。
- ⑬ 雨天の場合でも、室外待機を命じることがあるので、雨具を用意すること。

【5】 感染対策上の全般的な注意

- ① 毎朝検温を行い、所定のチェックシートを提出すること。
- ② 飲み物の共用をせず、各自自分の飲み物を用意すること。
- ③ 除菌・消毒の用具をできるだけ持参すること。
- ④ 手洗い・うがいを心がけること。
- ⑤ 食事中の会話を避けること。